

新春  
座談会  
2014

# 良好な景観を未来へ

## — 景観は市民共有の財産 —

景観は、まちの歴史や文化、イメージを表していて、極めて公共性が高いものです。富士山をはじめとする市内の美しい景観は、当市の自慢の一つです。6月には、富士山が世界遺産に登録され、良好な景観を未来に引き継いでいくことは、ますます重要なこととなっています。市では、3月に景観法にもとづく景観計画を策定し、4月からは景観条例を施行しました。今年の新春座談会では、当市の景観をテーマに語り合っていきます。

### ● 座談会参加者 (敬称略・順不同)

#### 天野 光一

日本大学理工学部  
まちづくり工学科教授・工学博士  
市景観アドバイザー会議会長

#### もろい 諸井 章

諸井一級建築士事務所  
諸井行政書士事務所代表  
市景観アドバイザー会議副会長

#### 土屋 相子

市婦人会会長・市観光協会理事  
パノラマロードを花でいっぱいにする会会員  
山野草の寄植教室などを開催する  
麓相艸ろくあいそうの代表

#### 大橋 俊二

裾野市長

## 景観は人と周りを取り巻く眺め全体を契機 としてはじまる心の中の現象

—まず、景観について思うこと、感じることをお話を  
ください。

**市長**▶当市で景観といえば、やっぱり富士山ですね。市内から見る富士山は、均整がとれていて最も美しい。宝永火口が真ん中であって、本当にすごいなあと思います。頂上がギザギザになっていて、小学生のときに描いた記憶があります。毎朝、富士山を見るようにしていますが、富士山がくっきり見えれば1日気分良く過ごせますが、富士山が見えないと、何となく気分が沈んでしまうときもあります。景観は、人の気分を与える影響が大きいので、良好な景観を保っていくことはとても重要だと思います。

**天野**▶景観を一言でいうのは難しいですが、人と周りを取り巻く眺め全体を契機としてはじまる心の中の現象という定義が普通だと思います。難しいことは別にして、景色が良くて、居心地も良くて、まちであれば住みやすくというのが景観なんだろうなと思っています。

**諸井**▶人は生まれ育った環境によって人間が形成され性格が変わってくるといわれますが、その中で、景観は大きな要素の一つではないかと思います。私自身、生まれ育った郷土の景観をあまり意識するようなことはありませんでしたが、地元を離れていたときに郷土へ帰ってきて、改めて裾野の景観はすばらしいなあと感じることがありました。自分がちょっと悩んだりしたときに、周りの景観を見ると心が和まされます。



土屋さん

**土屋**▶景観は、その地域の生活を写し出しているような気がします。時代とともに景観も変わっていきます。雑木林だったところが、木材の需要が増えるとヒノキ林になり、その後芝の生産が盛んになり芝畑になった場所があります。そのときの生活、経済の流れが景観にあらわれている気がします。

**天野**▶景観には、自然景観とか田園景観とか山岳景観とかいろいろありますが、自然景観ってほとんどないですね。日本では、白神山地くらいかなと思いますが。山はほとんどが植林されているので、林業という一次産業が作った景観です。工場があれば二次産業が作った景観ですし、まち並は三次産業が作っています。産業だけではなくて人々が住んでいればそれが景観を作っていく。景観には住んでいる人の文化程度が現れます。住んでいる人が、その場所を本当に愛して大事にして暮らしていくことが大切です。

## 真冬の富士山を見るとその美しさに 圧倒され、鳥肌がたちます

—市内の好きな景観をあげてください。

**諸井**▶千福深良線のJR御殿場線に架かっている高架橋からの景色がいいですね。富士山がよく見えるのですが、歩いていて富士山が見えると、何か1日得したような気持ちになります。千福深良線の野添橋から見る黄瀬川も好きです。溶岩の間をぬって水しぶきをあげて流れる黄瀬川を見ていると心が洗われます。子どものころの泳いでいたころを思い出して、自然と足をとめて黄瀬川の流れを見てしまいます。日によって富士山も黄瀬川も景色が違うので、毎日楽しみにしながらウォーキングをしています。



野添橋から見る黄瀬川

**土屋**▶真冬の夜、車を運転していて富士山が見えると、その美しさに圧倒され、鳥肌がたちます。ほかには、秋の夕日に輝くススキと富士山、十里木に落ちる夕日、忠ちゃん牧場から見る富士山など、景色を見て元気をいただきますし思わず手を合わせてしまいます。今、挙げたところはすべて地元の須山ですが…。

**市長**▶私も、朝、富士山が見えると、今日一日大過なく過ごせるようにと思いながら手を合わせています。そのときは、富士山を心の拠り所になっているのだなと感じます。市内の景色では五竜の滝が好きですね。あ



とはヘルシーパーク裾野から見る富士山がきれいだなあとあります。ヘルシーパーク裾野の愛鷹の湯と箱根の湯は、富士山が見える露天風呂ということでつくったのですが、驚いたのは、バーデプールに富士山が映っていたことです。まさかヘルシーパーク裾野で逆さ富士が見えるとは思いませんでした。



真冬の夜の富士山

### 富士山は景観の大スター

——天野さんは、当市の景観についてどのような感想をお持ちですか。

**天野**▶ほかのところで景観をどうするかというのを考えるときに、そのまちの景観のテーマをどうするか必ず悩みます。ところが、富士山の周辺は何も悩まなくていいですね。皆さんのお話の通りで、テーマは富士山に決まっています。富士山が見えるということは、大スターと結婚してしまった配偶者の苦しさで、皆に見られているから変なことができない。ほかの町だったら市民の方がこれでいいといったら、いいんです。ところが、富士山が見えるということは、市民だけでなく市外からも人が来るし着目するので、市民がよければいいというわけにはいきません。

観光地で展望台をつくと、展望台からはきれいな景色が見えるけど、周りから見ると展望台が汚くて景色を壊しているという例はよくあります。市内には高い建物や広告塔、広告看板などもあまりない、邪魔するものが少ないですね。普通に普通の市民の暮らしているところが、富士山のふもとで、普通に富士山が見えるというのが一番いいんだろうなあとありますね。邪魔なものは見ないことにしないで、あれは邪魔だと思ひ、なくしていくことが大事です。

あと、外から訪ねる人がくるとやはり何か拠点は必要なので、川と富士山とかススキと富士山など自然系

の要素などと富士山が上手く対になって見えるような拠点をつくるといいと思います。

**土屋**▶現在、パノラマロードを花でいっぱいにする取り組みを市民協働で進めています。パノラマロード沿いの遊休地にお花を植えて丸3年になりますかね。最初、我が家の遊休地にコスモスを植えてもいいですかという声がかかり植えたら、とてもよく富士山とマッチしました。それが話題となり、それから春は菜の花、秋はコスモスを植えています。ゴルフ場などからの芝の需要が減り、芝生が売られないので芝畑が荒地になってしまっている。そこを利用してお花を植えて、富士山とパノラマロードと桜並木で素晴らしい景観になっています。パノラマロードを花で埋め尽くすことが私たちの夢です。

**天野**▶いいことですね。芝畑と富士山の景色も美しいのですが、休耕田になって放っておくと荒地になってしまいます。そうすると寂しいですよ。そこに手を入れる、産業的に厳しくなったけど別の市民の方々の愛情が入ってきて景観を形成しているということは素晴らしいことだと思います。



天野さん

**市長**▶アジサイや彼岸花も咲いていますね。今でも、当市の自慢の景観ですが、パノラマロードが花で埋め尽くされたら、もっとすごいでしょね。

### 景観形成は、一人ひとりの愛情が必要

——改善したいとか気になる景観はありますか？

**諸井**▶パノラマロードの辺りは休耕地が多いので、規制されない1,000㎡未満の太陽光発電の施設が乱立してできて、景観が壊されないか心配です。

**天野**▶全部が全部ダメという必要はないですが、大事なことは、見えないようにするとか目立たないようにするというような配慮が必要になります。最近、発電素子も黒に近いのでそんなにひどく目立つわけではありませんが、でもやはりダメなところはダメ、いい

ところだったら道路を歩いている人や車から見えないように何か工夫していただくとか、配慮が必要だと思います。

ただ、メガソーラーの怖いのは、発電素子よりもそれを集めるための集約する小屋とかそこから電気を持っていくための電柱や電線がもっと景観への影響が大きいので、それらを考えなければいけないですね。メガソーラーは届出ができて、そこから小屋を作って電気を引っ張って電柱で持ってくるとなると、それらは高さがなく景観条例の届出対象にならないので、できてしまう。それをどうするかというのは難しいですね。

**諸井**▶一概に今のエネルギーを考えると、ダメともいえない部分もありますが、場所を考えていただくことは必要だと思います。市では学校の屋上などを推進していますからね。そういう施設を利用していただきたいと思います。

**市長**▶景観を壊されないようにするという面でも、パノラマロードの市民協働の活動は、重要であると考えています。

**天野**▶あとは、人の心の問題というか、お金のことが最優先されると景観を守っていきません。暮らしがあっての景観なので、「お金なんて関係ない」と言うてはいけないのですが、でも場所は考えましょうということです。例えば、景観計画で景観重要公共施設に指定しているところは、公共施設だけでなく周りも一緒に大事にしていきたいと思いますというのがすごく大事です。

**市長**▶やはり景観を害さないで、そして地元の人にも収益が上がるようなことをしていかなければいけませんね。

**土屋**▶ほかに私が気になるのは、五竜の滝の滝壺のごみです。五竜の滝は大好きな場所なので、どうにかできないものかなと思います。あと、道路脇の雑草がすごく多いのが気になります。



五竜の滝

**諸井**▶歩道に雑草が生えるというのはやむを得ないというところはありますが、あまりにも雑草が高くなっているところがあります。市民の一人として、恥ずかしいなあという感じがします。市外から来た人からは印象が悪くなってしまうので、何とかしたいなあと思いますね。

**土屋**▶皆さんが協働の気持ちで景観をきれいにすることを考えられたらいいなあと思います。

**天野**▶皆さんが、自分の家の前の道や公園を自分のものだと思って愛して、ちょっと手を入れていく。そんな心持が大事ですね。

**市長**▶富士山資料館では、北側の杉の木が伸びて、資料館の館内から富士山が見えなくなってきたのですが、須山の方々にご協力いただき、富士山が見えるように切っていただきました。あれは、とてもありがたかったです。富士山資料館は、世界に一つしかないですから。また、まちをきれいにしていくには市民の皆さんの協力が不可欠です。市では、市が管理している道路や河川などの公共空間をきれいにする活動について合意した団体の活動費を支援する制度があるので、利用していただければと思います。



大橋市長

**諸井**▶私は、ほかには川が気になります。大きな川でなくて、自分たちの身の周りにある川に、昔は魚やホタルがいましたが、今はコンクリートの三面張になってしまっています。流れが良くなって沈殿物はなくなるなど機能性を重視してやむを得ない面もありますが、少しずつでも改善して、自慢できる憩いの場所ができていったらいいなあと思います。

**届出対象でないものにも配慮が必要  
景観計画の基本方針を皆さんに知ってほしい**

**市長**▶市では、3月に景観計画を策定し、4月から景観条例を施行しました。「みんなでつくろう 富士の裾野の裾模様 “あなたの思いやりが、美しい裾模様を



つくります”」を景観形成の基本目標としています。景観形成では、市の特徴をいかすこと、地域の景観と調和する開発や建築などを誘導すること、市民・事業者・行政の協働により景観形成を推進していくことを基本的な考え方としています。

10月1日からは、景観に及ぼす影響が大きいと考えられる大規模な建築物、工作物は事前に届出をしていただいています。また国道469号、パノラマロード、富士山スカイライン、中央公園、小柄沢緑地を重要公共施設に指定し、今後、施設整備を行う場合には景観に配慮した整備を行っていくことになります。



**天野**▶景観計画は、景観法に基づいた計画なので強制力があります。今までは、景観に対して強制力を持つことがなかったですね。景観法にもとづく景観計画であれば、裁判になっても負けることはない。これは非常に大きいです。

また、景観計画をつくって市の方が皆さん、それを読んでくれると意識が高まりますね。市民や事業者の方々への広報も、こういうのは届出してくださいねという内容だけでなく、何かものをつくるときには、こういう考え方でつくるんですよ、というような基本方針が景観計画に書いてあるので、その考え方をお知らせして、皆さんに知っていただきたいですね。

**諸井**▶大きい建物は規制ができますが、規制の対象にならない小さなものについても、市民が意識を持たなければいけないなあと思います。

**天野**▶届出しなければいけないものは守るけど、しなくていいものはやり放題ということではありません。ものをつくり色を決めるときに、「市の景観計画の精神だと、こっちの色の方がいいよね」という会話が建築士の方などとできるようになるといいですね。

**土屋**▶きれいなら皆さん喜びますよね。皆さんが景観についての意識を持って協力しあう、それがいつの間にか住民の約束事になればいいですね。

**諸井**▶自分の家の前とか周りとか、一人ひとりが意識してきれいにすれば、全体がよくなりますからね。



諸井さん

### 一人ひとりの意識の積み重ねが

### 良好な景観形成に…

——最後に、景観は一人のものではない。共有の財産だということで、良好な景観を維持していくために必要なこと、あるいは、ご自身がこれから取り組んでいきたいことなどをお話ください。

**諸井**▶景観条例が制定されたのを機に、市民一人ひとりが景観について理解をして、一人ひとりが考えていけば、きっともっとすばらしい裾野市ができていくと思います。自分自身も市民の一人として、せめて自分の周りだけでもきれいにしていこうかなという気持ちでいます。

**土屋**▶まずは家庭、それから地域、そしてそれが裾野市のおもてなしの景観になるようにしていけたらいいかなあと思います。良い見本があれば、皆さんの家庭でも自分の周りをきれいにしようという心がけができてくると思います。パノラマロードの活動にも力を入れて、模範的な場所として日本の裾野のPRの場所になるように皆さんと協力していきたいと思っています。



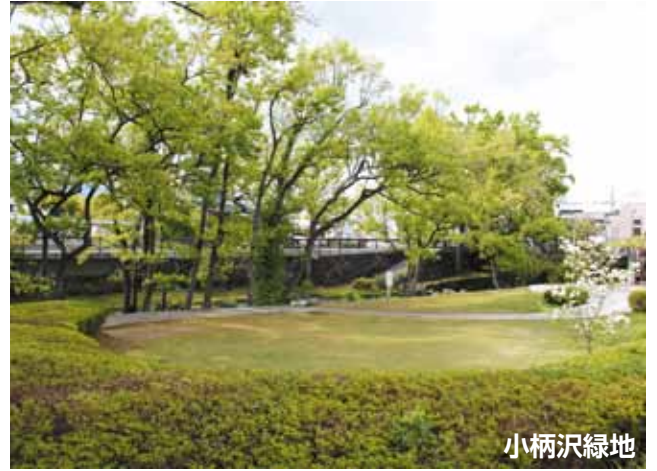
パノラマロード沿いのコスモス畑と富士山

**天野**▶せっかく景観計画という手段を得たので、市の方、市民の方に知っていただきたいです。そして市民

みんなで、美しい裾野の景観をつくりあげていってほしいと思います。市内には、そんなに景観を壊しているものがないので、ちょっとまずいところを少しずつなおして余計なものをつくらないようにしていけば、いい景観を保持できると思うので、市の方も市民の方も是非がんばっていただきたいと思います。

**市長**▶ 今日、皆さんとお話をさせていただき、皆さんが当市の景観を自慢に誇りに思っていることを実感しました。6月に富士山が世界遺産に登録されました。古くから富士山の雄大で美しい姿が基盤となり、人々が思いを寄せ、信仰や芸術が生まれてきたことが世界遺産にふさわしい価値として認められました。一方で、その良好な景観を維持していくことは、地元自治体、住民の責務でもあります。景観は人々の気持ちに大きな影響を与えます。市内に住んでいる皆さん、市内を

訪れる方々が元気と活力を得るためにも、自慢できる市内の良好な景観を、未来へのこしていく取組を進めていきたいと思います。そのためにも、市民の皆さんのご協力を切にお願いします。



小柄沢緑地

## 新春あいさつ



裾野市長

大橋 俊二

### 世界遺産 富士山とともに

新年、明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた新春を健やかにご迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

新春を迎えるにあたり、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日ごろから市政に対しご支援とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、日本の象徴である富士山が、6月に国内では17件目の世界遺産に登録されました。富士山の恵みを受けている本市にとって、悲願を達成し大きな喜びに包まれた歴史的な出来事でした。富士山は、美しく荘厳な姿から、時代を超えて様々な信仰の対象となり、また優れた多くの芸術作品に取り上げられるなど、まさに日本文化の源となってきました。そのことを証明しているのが構成資産であり、本市にある須山浅間神社もその一つです。

須山口登山道は、遅くとも室町時代には成立していた登山道で、1800年には5,398人の登山者を集めた

記録があります。この歴史ある登山道の起点となったのが須山浅間神社で、世界遺産に登録されて以来、多くの方々が参拝されています。富士山の世界遺産登録は、地域の歴史が世界に認められたことでもあり、喜びを感じています。古来から現代に至るまで、多くの人々に畏敬の念を抱かせ感動を与えてきた富士山です。富士山のすそのに暮らしていることに誇りを持ち、富士山をより一層愛し、守り、その素晴らしさを次世代に継承していくことが重要であると考えています。

思えば、市長として、時に考え、時に想い、時に悩み、または決断が必要なとき、私を奮い立たせ勇気を与えてくれたのが威風堂々とした富士山でした。私は、1月28日の任期満了に伴い、市長の職を退任することとしました。20年前に市長に当選して以来、「健康文化都市」そして「暮らし満足都市」の実現をめざし、様々な事業に全力で取り組んできました。多くの市民の皆様のご支持をいただき、目標とする「健康文化都市」「暮らし満足都市」の実現に近づいてきたものと思っていて、市長としての達成感も感じたところです。

市民の皆様には、この20年という長きにわたり、大変温かいご理解・ご協力を賜り、心から深く感謝申し上げます。厳しい情勢にも、笑顔の絶えない明るい社会を願うとともに、本年が皆様方にとって大きな飛躍の年となることを心からお祈り申し上げまして、私の年頭の挨拶とします。